

定例教育委員会会議録

(令和4年11月8日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日 時 令和4年11月8日（火）

13時30分～

場 所 岡谷市民総合体育館 第一会議室

署名委員 藤森教育委員、小平教育委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 今後の学校の施設整備について【資料 No.1】 (教育総務課)
2. 岡谷市議会12月定例会の議案について（非公開）【資料 No.2】 (各課)

○ 報 告

1. 岡谷市議会9月定例会一般質問要旨【資料 No.3】 (各課)
2. 令和4年度子ども・若者育成支援強調月間について【資料 No.4】 (生涯学習課)
3. 岡谷南部中学校のトイレ洋式化工事について【資料 No.5】 (教育総務課)

○ そ の 他

- ・行事等について（各課）
- ・その他

【次回開催予定】 12月12日（月）9時30分～ 岡谷市役所2階 202会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 小平 陽子

欠席委員

教育委員 高木 千奈美

事務局（説明員）

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主任指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 伊藤 恵、スポーツ振興課長 小松 隆広、
教育総務課教育企画主幹 西山 塁、生涯学習課青少年主幹 長門 哲、
教育総務課主査 新村 尚志

<会議録>

○開 会

岩本教育長： 本日は高木教育委員が所用で欠席ということですので、よろしくお願いいたします。それでは、ただいまより令和4年度11月定例教育委員会を始めたいと思います。

本日の署名委員は藤森教育委員さんと小平教育委員さんをお願いしたいと思います。

○教育長報告

岩本教育長： 11月に入り、秋も一段と深まり、朝晩の空気の冷たさを感じる季節となりました。また、夜は寒さも際立ち、ここ数日間は晩秋の感じさえして一気に季節が進んだような気がいたします。

そうした中、岡谷市では、10月18日（火）から11月29日（火）まで、21区を訪問する、市長と語る「まちづくり ふれあいトーク」が開催されております。

3年ぶりの市政懇談会となり、今井市長から第5次岡谷市総合計画の取組状況と令和5年度の予算編成方針などを説明した後、市民の皆さんから日頃感じていることなど、様々な点からご意見をいただいております。

先週までに11区をまわったところですが、教育や学校に関する意見などをいただいております、これからの「まちづくり」に参考となるご意見をいただくことができる貴重な機会であると捉えています。都合が合えば、委員の皆さんもお近くの会場へお出かけいただければと思います。

また、新型コロナウイルスにつきましては、感染者が急速に増え始め、11月4日には病床ひっ迫の状況を表す医療アラート「医療特別警報」が出され、県独自の感染警戒レベルが「5」に引き上げられました。

家庭内や学校・職場など様々な場面で感染が広がっていることから、皆様におかれましては、感染防止対策を徹底しながら、感染リスクの高い場所等へ行かれる場合には十分に注意していただきたいと思います。

それでは、何点か報告させていただきます。最初に教育総務課関係についてであります。

秋の学校行事を代表する各校の音楽会が開催されております。私も何校か拝見させていただきました。

コロナ禍が続いており、残念ながらマスクを着用しての発表となりましたが、子どもたちのしっかりとした歌声を聞くと、全員で一つの音楽をつくり上げる練習に励んできたことが分かり、深まる秋のひととき

岩本教育長： に、心温まる癒しの時間をいただきました。

2点目は、学校施設の整備につきまして、この後の報告事項でも説明を予定しておりますが、本年度、整備を予定していた、岡谷南部中学校のトイレの洋式化工事が先月竣工となりました。

このトイレの洋式化工事は、令和2年度の川岸小学校から順次進めているもので、本年で4校目となります。学校からはトイレ環境が良くなり、生徒からも使いやすくなったと評価をいただいております。

つづきまして、生涯学習課関係の報告をさせていただきます。

「芸術の秋」「読書の秋」と言われるこの季節、カルチャーセンターや図書館、カノラホールにおいて、日々の活動の成果を発表する催しが行われています。

カルチャーセンターでは、10月28日（金）から30日（日）まで、「作品展」を開催しました。カルチャーセンターで活動する学習グループなど33団体272人から絵画や俳句、写真、洋服、陶芸など382点の出品があり、多くの方にご覧いただくことができました。

岡谷図書館では、10月29日（土）に「図書館子ども読書まつり」を開催しました。7つのボランティア団体による絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇が披露されましたが、今回、教育委員会を代表して、太田委員さんに参加いただき、「ともだちや」という大型絵本の読み聞かせを行っていただきました。

太田委員さんの素敵な語りに、多くの親子が物語の世界に引き込まれていました。これをきっかけに子どもたちが本とふれあい、本を好きになることを願っているところであります。太田委員さん本当にありがとうございました。

また、3年ぶりとなる「市民音楽祭」が、11月3日（木）、カノラホールで行われました。コロナ禍ではありましたが、小中学校をはじめ15団体の参加があり、日頃の成果を発表していただきました。当日は、ホールに素晴らしい音楽が響き渡り、「音楽の秋」を満喫した時間となりました。

今後の催しについては、お配りしてありますチラシのとおり、12月上旬まで行われておりますので、この秋、身近なところで芸術や文化に触れていただき、新しい発見や感動、新たな趣味や生きがいなどを見つけていただければと思っております。

岩本教育長：

続いて、スポーツ振興課関連を報告させていただきます。

第71回長野県縦断駅伝競走大会が11月20日（日）、3年ぶりに開催されることになりました。

信州の秋の風物詩として親しまれております同大会はこれまで2日間の日程で行われてきましたが、今大会から日程を1日開催とし、コースも従来の「長野市から岡谷市」、「松本市から飯田市」を隔年で交互開催することになりました。

今年は長野市をスタートし、岡谷市がフィニッシュとなる117.35kmで行われ、女子中学生区間を新設した16区間の10チームで競われます。

前回の第68回大会では、オールすわチームが大逆転劇で6年ぶり12回目の栄冠に輝いておりますが、今大会においてもチーム一丸となったすばらしい走りを見せてくれることを期待しております。

オールすわチームの選手の皆さんのご活躍、ご健闘を祈念するとともに、是非トップで岡谷市役所のゴールテープを切ってくれることを願っているところであります。

つづきまして、やまびこ国際スケートセンターの営業開始について報告させていただきます。

寒さも増し、いよいよスケートシーズンの到来であります。今シーズンの営業は11月23日（水）から来年の2月15日（水）までとなります。

オープン当日は、滑走を無料としておりますので、多くの皆様にご来場いただき、初滑りを楽しんでいただければと思っているところであります。

なお、引き続き感染防止対策を十分に行うなかで、スケート人口の底辺拡大と競技力向上に取り組んでまいりたいと考えております。

私からの報告は以上であります。

ただ今、報告した内容に関して、教育委員の皆様から何か質問はございますか。よろしいでしょうか。それでは、本日の議事に入ります。

○議 題

1. 今後の学校の施設整備について（教育総務課）

<資料1に基づき、事務局より説明>

岩本教育長：

ただ今の説明について、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

草間職務代理者：

今、川岸小学校の整備について、ご説明がありました。従来の施設整備

草間職務代理者： では管理棟のみや教室棟のみを対象とするわけですが、川岸小学校についてはほぼ全部が入っています。これは小中一貫校をにらんだ整備計画が反映されているのか、それとはまったく別で老朽化のためなのか。給食室まで入っているのは大変珍しいと思うのですが、その辺りについて、この4年間の計画で内容公表ができるようなものはありますか。

事務局(両角)： 今はまだ小中一貫の具体的方策について、この場でご説明できるものはないのですが、小中一貫教育については、従来から川岸小学校と西部中学校は敷地が隣同士であり、優位性があるので、小中一貫教育を具体的に検討するのは川岸地区であろうという位置付けを「魅力と活力ある学校づくり推進プラン」の中でもしており、平成31年以降、市として検討しているところでございます。

先ほど教育長より市政懇談会で今井市長がこれまでの取り組みをお話しているという報告がありましたが、今井市長自ら、小中一貫校に向けた検討をしているというお話をしております。その要素も含めた検討をこれからしていくという状況になります。

小平教育委員： このように点数化してわかりやすく表示していただき、納得がいきました。調べるのは大変な作業だったと思いますが、身近な方からも学校が古いのは嫌だという声を私も何回かお聞きしており、残念に思っていました。やはり校舎の整備にはこのように順番に実施していくというのを分かりやすくまとめていただくと市民の皆さんも納得していただけると感じました。

あと、小井川小学校の東体育館は資料を見たときに真っ先にすごい数字でして、今回の劣化度の計算からは除外したというお話でしたが、現時点で施設の使い方はどうなっていて、今後壊すなどの予定はあるのでしょうか。

事務局(両角)： もう築80年ぐらいのどちらかというとい歴史的な建物になってこうかと思いますが、現役で使用しております。当然、最低限のメンテナンスはしていて、学校として使えるというところであります。いかなせん、経年が進んでおりますので、いずれは違う形を考えていかなければいけませんが、今現在は安全に使っていただいております。木造の体育館というのは、しっかり手入れをすると長く使えるという所が木造の良いところですので、古すぎる面はあるのですが、一応使用できる状況ではあります。

小平教育委員： 専門の方がしっかり確認して、現在は使えているということですね。毎年学校をあげて、確実に校内を点検していただいているというのを聞いております。また資料に非構造部分の耐震対策という項目があり、予算として大きな改修は毎年出来なくても、確実にそういったところには岡谷市として手をつけていただいているということが分かりますので、ここは手を抜かず進めていただきたいと思います。

また、国が出している方向性について、急成長の時代に小井川小学校はものすごいクラス数だったと思います。ほかの小学校、中学校もそう

小平教育委員： ですが、余剰の教室が増えてきており、急成長のときに増やしたものが不要になってきていて、少し寂しい気持ちになりますが、考え次第で建築物はデザインも含め、使い方もいろいろな工夫ができると思います。

資料 No.1-②の中にも多目的な空間整備とあり、今後の考え方として、授業を教室の中で子どもたちがじっと椅子に座り続けるだけではないと思っていて、動き回って、何かを体験するという形もできると思うので、先生方とアイデアを出し合いながら、皆さんで建物の使い方を考えていけたら良いと思います。

藤森教育委員： こういった形で一覧表に詳しく見える化していただき、まずどこから整備していかなければいけないのか、必要性も含めて、非常にわかりやすく、提示をしていただきありがとうございます。

資料にある総合劣化度という数字について、参考まででかまいませんので、どのようにこの数字が導き出されているのか、どんな基準があるのか、教えていただきたいと思います。

事務局(両角)： 基本は総務省から公共施設総合管理計画のガイドラインが示されており、建築的な視点の中で、たとえば屋根仕上げがこういう状況であれば、点数が何点という形で劣化度に応じて点数化された表がありまして、すべての施設を市の建築技師の職員が目で見てもわり、点数を足し上げて各施設の総合劣化度というものをしております。

中身の詳細までは私も専門ではないため、申し上げられないのですが、評価項目に応じて、点数化するリストがあり、それを全部足し上げたときに点数の大きい施設は劣化が進んでいて、逆に新築であればゼロになるものであります。

ただ、この表の中で右側に改修歴とあり、ひし形がついている施設がございます。これは何を意味しているかというと、ひし形がついている東部中学校は今、国が求めている長寿命化の改修事業で改修した校舎になります。通常、建築した年から耐用年数というのはどんどん終わっていき、将来も長く使える校舎整備をしていくことで、国の設計上はこの先40年使用することができる改修が長寿命化大規模改修というものになります。東部中学校は築年昭和39年とあり、今回の改修をしたことで、将来にわたり使える校舎として延命を図っていますので、もともと80点ぐらいだったのが、改善して長く使える状態になったということになります。そういう取り組みがどんどん進んでいけば、全体の長寿命化が進むという状況になります。資料 No.1-①の下を見ますと、過去に同じような視点で、今の神明小学校の現行の校舎について、コンクリートむき出しにして基礎からもう1回作り直しており、国が進めているモデル事業として行った実績がありますので、改修で手を入れた校舎はポイントが低くなっております。

藤森教育委員： いろんな評価項目があってそれに照らし合わせて、数字を導き出すということがわかりました。ちなみにここで出てきている数字は市の教育

- 藤森教育委員： 総務課でその基準に倣って出したものなのか、或いは第三者的な部署が客観的な評価の中で出したものなのか、教えてください。
- 事務局(両角)： 市の企画課で算出したものになります。市の総合施設等管理計画の担当部署となり、そちらに建築技師がいて、現地を回って評価していただいております。
- 藤森教育委員： わかりました。ありがとうございます。
- 太田教育委員： 丁寧なご説明ありがとうございました。予算の制約と時期の兼ね合いを考えて、優先順位をつけて、整備していくしかないだろうと思っていますので、それに従って着実に進めていただきたいと思います。
- また、先ほど小平委員がおっしゃっていましたが、可能な情報があれば、できる限り、市民の皆さんにオープンにさせていただいて、理解を得ながら進めていただくとより望ましいと思いますので、よろしくお願いします。
- 1点質問があり、先ほど資料 No.1-②で文科省の整備の方向性のご説明がありました。その中の2番目の防災・減災、国土強靱化の推進のところに避難所としての防災機能の強化、トイレ改修等とありましたが、具体的にはこの改修の中で今までと違うような形で、より避難所としての機能強化をしていくために何か具体的なもの、方向性というものがありましたら、教えてください。
- 事務局(両角)： 学校施設、特に体育館は有事の際の避難所、避難施設の指定をしてありますので、防災的な視点という取り組みが大事になってまいります。具体的な例で申しますと西部中学校は県道の拡幅事業で第2体育館とプールを移設する必要がある、新しくしましたが、まさにこの防災機能という視点を入れたプールを作っております。
- 内容は耐震性を備えたステンレスのプールで、災害時には蛇口をつけると生活用水として水を供給できます。飲料水というわけではありませんが、それが可能になっています。それから、水道課との共同事業で各学校へマンホールトイレの取り付けを進めております。
- 例えば、大地震等の際にトイレの下水が止まってしまうような時にも学校が拠点になるという視点で取り組んでおり、国としてもこのような取り組みを進めていこうということだと思います。
- 太田教育委員： 学校の状況にもよるかと思いますが、例えばトイレなどは基本的に、有事の時のマンホールトイレが設置されていくということですか。
- 事務局(両角)： はい。今年度も計画的に進めていただいていますので、新たに加わってまいります。また、トイレについては、基本的に体育館では多目的の身体障害者用トイレが使える環境整備が進んできています。
- 岩本教育長： マンホールトイレについて、今回は岡谷田中小学校で実際に工事を進めています。
- これで大規模改修する時もそれをうまく活かしながら改修をしていくということになります。

岩本教育長：

委員の皆さんから大変貴重なご意見等いただきました。

いずれにしても、子どもたちが安心して、学ぶことのできる学校づくりがとても大事だと思っております。いくつかの学校で老朽化が進んで、その老朽化対策が喫緊の課題となっているわけですが、国の学校整備の方向性等を踏まえながら、報告させていただいた考え方のもとで、次の学校施設整備の具体を検討して参りたいと考えています。

なお、岡谷市はすでに耐震化工事は全て終わっております。小井川小学校も4階建てという小学校では類を見ない校舎ですが、耐震化はしっかりしてありますので、地震の際には安心だと思います。

古い体育館はどう使っていったらよいか、これは地域の皆さん、学校関係者とよく協議しながら、大事に残すべきものは残し、そうじゃないものは壊していく。ちょうど創立150周年という節目を迎えており、いい機会かと思っておりますので、今回の意見をお聞きしながら、今後の学校施設の整備につなげていきたいと思っております。

それでは、議題の1につきましては以上とさせていただきます。

続きまして、議題の2「岡谷市議会12月定例会の議案について」、告示前でありますので、本日は非公開とさせていただき、後ほど議論したいと思いますので、報告事項に移ります。

報告事項1として、「岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について」、事務局より説明をお願いいたします。

○報告事項

1. 岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について（各課）

＜資料3に基づき、事務局より説明＞

岩本教育長：

何か質問や意見がありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。またご覧いただいて、何かお気づきの点がありましたらお願いいたします。

続きまして、報告事項2「令和4年度子ども・若者育成支援強調月間について」、事務局より説明をお願いします。

2. 令和4年度子ども・若者育成支援強調月間について（生涯学習課）

＜資料4に基づき、事務局より説明後、啓発動画を放映＞

岩本教育長：

委員の皆さまより動画の感想を一言ずついただければと思います。

小平教育委員：

かわいい子どもたちの笑顔とリーダーズ倶楽部の活動の様子が分かり、コロナ禍の中でもいろいろ行われており、ほっとするような内容になっていると思いました。前に行っていたポケットティッシュを配ると

小平教育委員： いうことに関してはどれだけ効果があるのかなと思っていたのですが、子どもたちの顔を見ながら、実際に外に出て声をかけ合ったりして、岡谷東高校の生徒会の子どもたちも参加してくれた時もありましたので、一斉にやるのは良かったと思いました。今、それが中々できない中でこうやって映像に変わったというのは、これはこれですばらしいと感じました。今回の動画制作にどれだけ労力がかかっているかわからない中で、さらに負担があったりするといけないのですが、感想として、子どもたちがこれだけ出演してくださっているのに、静止画でリーダーズ倶楽部の活動が紹介されていましたが、今子どもたちはタブレットを持っていますし、今回の撮影に関わってくださった子どもたちに活動内容やちょっとした趣味の部分でも良いので、発表に使える動画を提供してもらって、編集したらどうかなと思いました。

子どもも自分の制作物を発表する場というのはすごく大事だと思います。まさに自分が活躍できたという自己肯定感に繋がるようなものがあると良いと思いました。

草間職務代理者： 私も以前の強化月間の時には主に高校を回らせていただいております。生徒会の役員の方や教育委員と一緒に登校する子どもたちに声掛けをして、この月間を盛り上げておりましたが、このコロナ禍において、そういうふれあいも無くなってしまっていて非常に残念に思います。

また岡谷市子ども会育成連絡協議会の宮澤会長ともお話したのですが、この状況下であってもリーダーズ倶楽部の継続を考えて進めているそうです。コロナが収まれば、きっとまた前と同じような活動もできることと思っています。コロナによるこの3年間の停滞が残念に本当に思います。

藤森教育委員： 動画もよくまとめられていました。シルキーチャンネルで放映されるということですが、岡谷市のYouTubeチャンネルでは公開しないのですか。

事務局(長門)： シルキーチャンネルで放映しているので、市のYouTubeでも放映します。

藤森教育委員： インターネットで差支えなく公開できるものであれば、ぜひPRしていただきたいと思います。

コロナ禍を鑑み、啓発活動を今年も中止したということでした。いろいろな考え方があるので、本当に難しいと思いますが、朝の子どもたちの気持ちの良い挨拶を聞いたり、何か物を渡すという行為は難しいのか、判断に迷いますが、今年はもうこういう形で行っていくということで、これは致し方ないと思います。

今後は本来の趣旨に則って、やり方を工夫しながらできることはやっていくということも必要ではないかなと感じました。

太田教育委員： 動画についてはなかなかよく考えていただいて、良いものになっていると感じましたので、多くの皆さんに見ていただければと思います。

今更ながらお伺いしますが、リーダーズ倶楽部は岡谷市独自のものでしょうか。それとも他の自治体にもあるのでしょうか。

事務局(長門)： 他の自治体にもありますが、岡谷市の場合は中高生の子どもたちがボランティアでいろんなイベントやレクレーションを運営する活動をしております。

太田教育委員： 私の場合は時期が過ぎてしまったのですが、実際に自分の子どもが対象年齢の時に名前だけは聞いていたので、実際にどういうことをしていて、子どもたちにどんな経験をさせてあげられるのか、正直存じ上げていなかったのですが、教育委員になってから初めて知って、こんなことをやっていたのか、早く知っていればこれは親から見たら非常にいい団体でいい経験が積める学びの場であると改めて思いました。

しかしながら、ここ近年、コロナ禍ということもありますが、おそらくそれ以前も少しずつリーダーズ倶楽部の参加者が減ってきていると思いましたので、これから対象になる皆さんにこんな活動をしていて、こんなことを経験して学べる団体、それがこんな身近にあって、ある意味では非常に気楽に参加できる団体だと思いますので、今回のこの動画について、この先、強化月間だけにこだわらず、何らかの形で使っていたければ良いと思いました。

岩本教育長： 事務局からは何かございますか。

事務局(伊藤)： いろいろなご意見ありがとうございます。コロナ禍ということで、いろいろな活動ができないほか、こういった強化月間の活動もできない状況で昨年と同じような形にしましたが、今後については、コロナの状況もあります、検討しながら、PR方法や月間の周知方法について検討していきたいと思います。どうもありがとうございました。

岩本教育長： 事務局も大変忙しい中、よくやっていただきました。今月もまだまだ強調月間ですので、私たちも簡単に声をかけると疑われる時代でその辺が難しいところですが、頭を下げるくらいはあってもいいのかなと思っています。子どもたちを守る月間だということを改めて私どもも大事にして、できることをやっていきたいと思っています。

続きまして、報告事項3「岡谷南部中学校のトイレ洋式化工事について」、事務局より説明をお願いします。

3. 岡谷南部中学校のトイレ洋式化工事について (教育総務課)

<資料5に基づき、事務局より説明>

岩本教育長： 何かご質問ありますか。よろしいでしょうか。報告事項は以上でございます。

先に進めます。【その他】であります。行事等について、事務局よりお願いいたします。

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

岩本教育長： 何か、ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。教育委員の皆さんから何かありましたらどうぞ。

それでは、本日の議題2に進みます。非公開となりますので、報道の皆さんは大変恐縮ですが、ご退席をお願いいたします。

＜傍聴人退席＞

○議 題（非公開）

2. 岡谷市議会12月定例会の議案について（非公開）（各課）

＜事務局から岡谷市議会12月定例会の議案内容について、説明し、承認される＞

岩本教育長： 何か、ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。それでは、事務局より次回の開催予定についてお願いいたします。

事務局(両角)： 次回の定例教育委員会は、令和4年12月12日（月）9時30分～岡谷市役所2階 202会議室で予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

岩本教育長： それでは、以上で本日の定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

15時05分 終了

岡谷市教育委員会会議規則第20条により署名する。

令和 4年 12月 12日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

藤森 一俊

署 名 委 員

小平 陽子

調 製 職 員

白上 淳